令和６年度都立新宿高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	・「書くこと」の指導の充実 ・「話すこと・聞くこと」の指導の充実	・４月の教科会で、年間指導計画について共有するとともに、指導事項について確認する。 ・特に現代文分野において、的確に書くことができるよう、記述力の伸長を図る。 ・「話すこと・聞くこと」についての多様な実践を試みるとともに、教科内で指導法を共有する。	・1、2年次における小論文模試の実施。 ・「総合的な探究の時間」の成果発表に向けての、教科横断的な連携。
地理歴史	・「対話的」で「深い学び」を実現する指導の充実 ・資料読解力・分析力・記述力向上の指導の充実	・国公立難関大学や私立難関大学の問題分析と教科内での共有を図る。 ・各授業を通じて資料読解、協同的な学習や発表を取り入れた授業を実施する。	・年間を通じて取り組むレポートや発表を取り入れる。 ・難関国公立大学論述問題への取り組みと添削。
数学	数学的に考える資質・能力を育成する指導の充実	・数学的活動を通して、問題を自律的・協働的に解決する能力の伸長を図る。 ・国公立大学入試に対応した解答作成能力、記述力の向上を図る。	・ 夏期講習における難関大対策講座の設置。 ・ 科学の甲子園全国大会への参加。
理科	観察・実験及び資料を読み取る学習を通して探究するために必要な資質・能力の育成	・各単元の導入時に、問いから入り、考えさせることを意識する。 ・観察・実験においても、生徒が問題意識をもって、方法や考察も生徒が主体的に取り組めるようにする。 ・データ処理の技能の向上を支援する。 ・探究する能力を問う入試問題にも対応できる学力の育成を目指す。	・総合的な探究の時間で身につけた、探究の過程と、成果をスライドやポスターにまとめて発表する技術を、理科の教科指導を通してさらに向上させる。 データ処理や、スライド及びポスターの作成に一人一台端末を活用する。
保健体育	生涯にわたり計画的・継続的に運動やスポーツを実践する資質・能力のを育成	体力や技能の程度、性別や障害の有無等に関わらず、運動やスポーツの多様な楽しみ方を生涯に渡って実践することができるよう、共生の視点を重視して指導する。	学習の成果が、関連する教科や特別活動など、他の教育活動と結び付き、日常生活で生かされるよう、学校の教育活動全体との関連を図る。
芸術	幅広い創造的な芸術活動の充実	・芸術4教科それぞれについて、基礎的な能力の向上に資する活動を実施する。 ・毎授業後、振り返りシートを実施する。 ・主体的、対話的な鑑賞活動を実施する。 ・ITCを活用した導入・課題作成を実施する。	・文化祭、学習成果発表会にて生徒作品の展示、発表を実施。 ・到達度を明確にさせ、評価するためのルーブリック評価表の開発・活用。
英語	4技能に対するバランスの取れた指導の充実	英文を読み、内容を把握した上で、それに対する意見、考えを英語で表現し、話して伝え、書いてまとめることができるように、授業内で発表と活動を取り入れる。	英作文指導、難関大学向け添削指導を組織的に行う。外部検定試験を利用し、生徒の状況を把握し、個別指導につなげる。
情報	情報に関する科学的な見方・考え方を中心に据えた情報教育の充実	・情報機器の仕組みを踏まえた活用方法を考えさせる。 ・日常の中のアルゴリズムについて考察しプログラミングに取り組ませる。 ・データに対する分析的な見方・考え方を意識させる。	・共通テストに対する指導の実施 ・情報オリンピックへの参加。 ・探究における根拠を示すためのデータ解析やプログラミングを用いた作品作りの支援。
家庭	生活の営みに関わる見方･考え方を働かせつつ体験的な活動を通して生活を向上させる力の育成	・生活の技術や知識を身につけ、生活者として生きる力を身につけさせる。 ・生活と社会の関係を知り、より良い生活を送るために何をすべきか考えさせる。 ・ホームプロジェクトを通して問題を解決する力を育成する。	衣食住、経済、保育、高齢者、環境といった生活を取り巻く様々な分野の学習を通して、現代社会を取り巻く問題について考える力をつけさせる。